

豊庄だより



第 671 号 2021 年 8 月 2 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

1 年半におよぶコロナ禍は、保育園の様々な活動に影響を及ぼしていることは、これまで「豊庄だより」でいろいろと書いてきましたし、なにより保護者の皆さん自身、実感されていることだと思います。今号で書くのは、そうした中、なんとかしたいという取り組みの一つです。「おひろめ会」です。何を「おひろめ」したかといいますと、音楽に関することです。

豊庄保育園では、ゆり、ひまわり組を対象に不定期ですが、外部から講師の方に来ていただき、音楽教室を行っています。不定期なのは、ある時期に集中して行っているからなのですが、その時期は、運動会前と生活発表会前の 2 回です。運動会は鼓隊、生活発表会は合奏の指導をお願いしてきました。鼓隊については、運動会の内容の変更により昨年から実施していません。一昨年までは 7 月の中旬から取り組みを開始し、8 月中からは園庭で練習をし、本番の運動会を迎えていました。コロナ禍によりこのスケジュールがすっぽりと抜け落ちてしまい、何をどうしていこうかと悩みました。こうした状況の中で何かできないかと、職員みんなで話し合いました。きっと何かできるはずだと検討しあい、4 月から発声練習とピアノの指導を講師の先生にさせていただくことにしました。そして、できればその成果を発表する機会を作れたらいいなあと考えました。しかし、夏まつりは中止となり、それでもこのままでは・・・と話している中、「おひろめ会をしよう」という提案がなされました。その後はとんとん拍子に計画は進み、7 月 27 日（火）の午前中に、ホールで行うことになりました。発表は、ばら、ゆり、ひまわり組。観客は、もも、さくら、すみれ組。

当日の様子を紹介します。ばら組の 1 曲目はカスタネット演奏で、「かえるの合唱」。2 曲目は、うた「手をたたきましょう」でした。こうした「発表会」では、司会者を作り、「初めの演奏は〇〇組です」などと紹介して始めるのですが、突然の開始でちょっとだけ驚きましたが、演奏はよくできていました。次は、ゆり組。1 曲目は、うた「ドレミの歌」。2、3 曲目は、ピアノの演奏で、「かもつ列車」と「ひげ



じいさん」。どれもよくできていたのですが、中でも、「かもつ列車」は、「プップー」という汽笛の音をピアノで表現しているところが印象に残りました。最後はひまわり組。1 曲目は、うた「ともだちになるために」でした。「ともだちになるために

人は出会うんだよ♪〜」と始まりましたが、歌うだけでなく、手話を披露してくれました。2 曲目は、ベートーヴェンの「喜びの歌」。ピアノによる 2 重奏でした。音楽教室で学び、練習して成果を発表してくれました。「おひろめ会」は 20 分くらいで終わりましたが、4 月からの取り組みがずっしりと詰まった素晴らしいものでした。

誕生会をコロナ禍のため 2 部制にしているため、未満児の子どもたちは久しぶりに以上児のステージを見ました。そのためだけではないと思いますが、とても集中して聴いている姿が印象に残っています。

その様子を、ビデオに収めました。そして、ブルーレイにダビングしました。貸し出しをしますので、事務室までどうぞ。